



川湯まちづくり通信 Vol.01

2025(令和7)年9月1日 発行

川湯温泉街
まちづくりかわらばん
(Vol.05まで発行)が
リニューアル!

川湯温泉街のブランドづくりを考える、 ブランドミーティングを開催しました。

2025(令和7)年1月から、川湯温泉街のみなさんと開始したブランドミーティング。このブランドミーティングでは以下の2つの内容を進めていきました。

- ① ブランディング計画の策定と制作
川湯温泉街のブランドコンセプト・ロゴ・キャッチコピー・WEBの活用方法から制作内容の検討
- ② インタープリテーションガイドブック※1の制作
川湯温泉街をまちのみなさん・観光事業者に伝える冊子制作

川湯温泉街のみなさんとワークショップを重ねながら、本質的な魅力や目指すまちづくり像の探究、インナーコンセプト※2の考案からロゴマークの完成まで全六回の開催となりました。



第一回目 2025(令和7)年1月23日(木)

ブランドづくりレクチャー
本質的な魅力探究ワークショップ

第二回目 2025(令和7)年2月19日(水)

温泉まちづくりのインナーコンセプト考案
目指すまちづくり像の追求ワークショップ

第三回目 2025(令和7)年3月11日(火)

インタープリテーションガイドブックの進捗報告
ブランドミーティングの成果①
温泉まちづくりのステートメント※3

第四回目 2025(令和7)年4月22日(火)

ロゴマークの役割レクチャー
川湯温泉街から「川」の文字を集める
フィールドワーク

第五回目 2025(令和7)年5月26日(月)

ブランドミーティングの成果②
川湯温泉のキャッチコピー「いのち、目覚める。」
ロゴマークのデザインワークショップ

第六回目 2025(令和7)年6月19日(木)

川湯温泉ツーリズムについてレクチャー
ブランドミーティングの成果③
ロゴマーク・インタープリテーションガイドブック

参加者の声



阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会
副会長 宮崎 健一さん

有りそうで無かった川湯温泉のロゴマークができました。今はまだ見慣れないけど、このロゴが町の顔になった時、川湯温泉は生まれ変わって思うな!



いなか家源平
井出 遥さん

川湯温泉の象徴が詰まったロゴです。行きたくなる町、参加したくなる町づくりのきっかけとして広まってほしいです。



味楽寿司
大浦 健一さん

川湯の住民でさまざまな意見交換ができて良かった。これからもみんなで川湯を盛り上げていきたいです。



川湯ホテルプラザ
星野 慎吾さん

ロゴとリニューアルされた川湯温泉のHPを活用して、みんなで川湯の魅力を伝えていきたいですね。

※1 インタープリテーションガイドブック: 川湯温泉が大切にしている考え方をどのように形にしていけるかをまとめた本。「伝え方の説明書」。
／※2 インナーコンセプト: 町民のみなさんが大切にしている考え方。「心の軸」。
／※3 ステートメント: 大切にしている考えを、言葉でわかりやすく表した。「宣言文」や「約束ごと」。

川湯温泉のロゴマークとステートメントが完成しました。

今後さらに取り組みを広げ、変化していく川湯温泉街のまちづくり。

ロゴマークはこれからの川湯温泉の顔となり、

ステートメントは、これからのまちづくりをメッセージしていきます。

これらは、ブランドミーティングの成果のひとつです。



川湯温泉

HOKKAIDO TESHIKAGA

源泉は硫黄山。熱源はひと。

はあ～生きかえるう～。湯に浸かれば、

誰もが幸せの息を吐く。

鉱夫、漁師や農家たち、湯治客。

多くの人がこの名湯を訪れてきた。

古くは道産子馬でさえも足を休めた。

インバウンド、人口減少、コロナ。

いつだって地方は、時代の影響を受ける。

地元のひとが熱くならず、人が呼べるだろうか。

巨大なカルデラ、美しい国立公園の森にある川湯温泉。

大地のエネルギーを感じ、雄大な自然を遊ぼう。

この地の食をいただき、文化を伝承しよう。

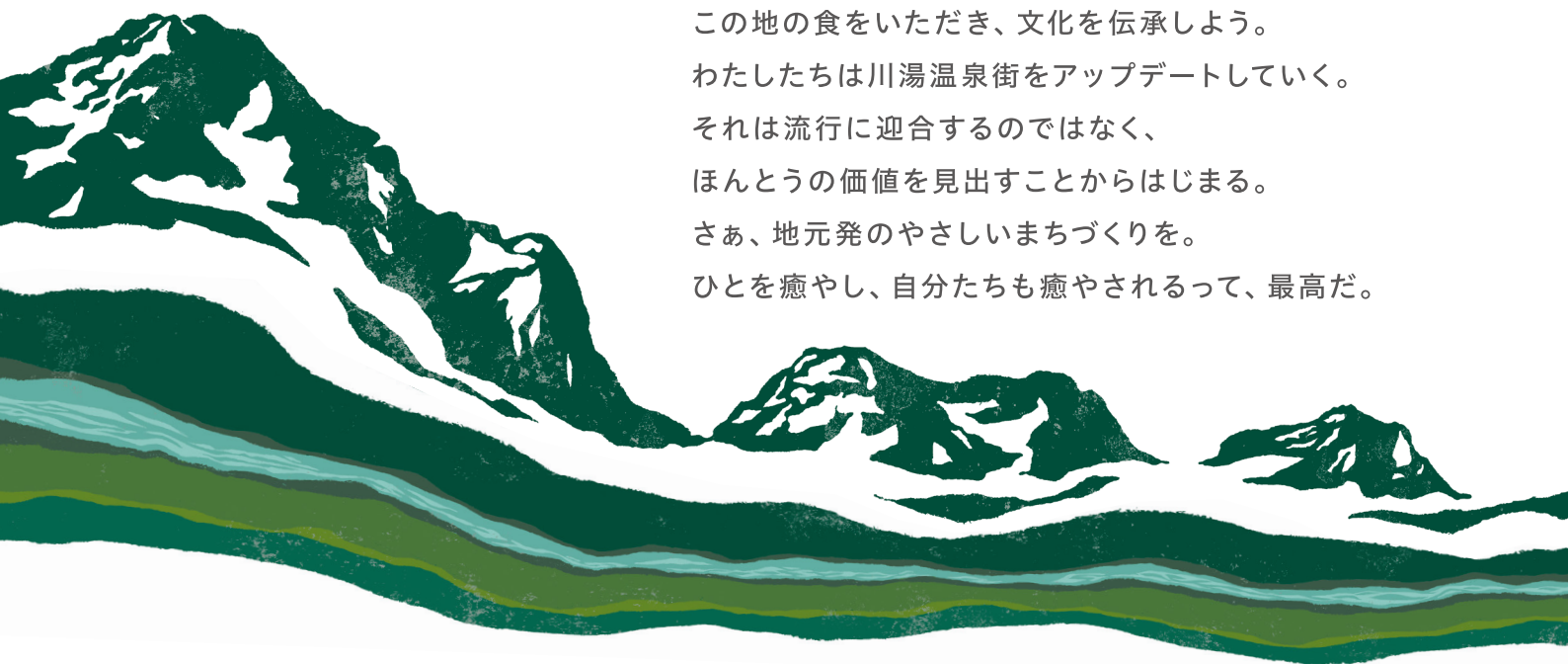
わたしたちは川湯温泉街をアップデートしていく。

それは流行に迎合するのではなく、

ほんとうの価値を見出すことから始まる。

さあ、地元発のやさしいまちづくりを。

ひとを癒やし、自分たちも癒やされるって、最高だ。



ロゴマークに込めた意味

川湯温泉の本質的な価値「硫黄山と温泉」、「原始の自然」、温泉街を支える「人と文化」を表現しています。硫黄山と噴煙、大地、温泉川と湯煙、そして硫黄山から続く岩盤層を描いたロゴマークです。

豆知識 その1

「山」に着目。よく見ると3つの山が描かれている？

「川湯温泉」の湯の源である硫黄山（アトサヌプリ）はもちろん、かぶと山（マクワンチサップ）・帽子山（サワンチサップ）を合わせた3つの山並みが描かれています。

発行・お問い合わせ

弟子屈町 観光商工課
川湯温泉街整備室 川湯温泉街整備係
北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号
TEL 015-482-2940 / FAX 015-482-5669

制作

摩周湖観光協会（地域DMO）

デザイン・編集

 街制作室株式会社 IMPROVIDE Co.,Ltd.

川湯温泉公式WEBサイト、
リニューアル第一弾を公開！

新しいデザインとともに、今までとこれからのまちづくりの取り組みについても発信していきます。

